

---

# JF T S 2022年度 通常総会資料

---

- 第1号議案 2021年度事業報告
- 第2号議案 2021年度収支決算
- 第3号議案 2022年度事業計画
- 第4号議案 2022年度収支予算
- 第5号議案 役員を選出（変更）

2022年5月21日

日本フードツーリズム学会

## 第1号議案 2021年度事業報告

### (1) 通常総会

- ・日 時：2021年5月22日（土） 10:00～12:00
- ・会 場：オンライン（議決権行使書）
- ・議 題：第1号議案 2020年度事業報告  
           第2号議案 2020年度収支決算  
           第3号議案 2021年度事業計画  
           第4号議案 2021年度収支予算  
           第5号議案 役員の選出（追加）

### (2) 理事会

回	開催日	内 容	出席者	会 場
第1回	4月24日（土）	<b>【審議事項】</b> ・研究分科会の採択審議 ・新入会員の入会審査 ・第4回研究大会の概要 ・学会運営と理事会体制の改善 ・2020年度事業報告と決算 ・2021年度事業計画と予算 ・2021年度役員構成の検討 <b>【報告事項】</b> ・総会／第2回理事会のスケジュール	9名	オンライン
第2回	5月22日（土）	<b>【審議事項】</b> ・2021年度通常総会の最終確認 ・新入会員の入会審査 ・広報（ホームページおよび facebook）の展開 <b>【報告事項】</b> ・年報『フードツーリズム研究』第6号の編集進捗	8名	オンライン
第3回	8月21日（土）	<b>【審議事項】</b> ・第4回研究大会の内容検討 ・新入会員の入会審査 ・理事会体制の変更 ・広報（ホームページおよび facebook）の強化 <b>【報告事項】</b> ・年報『フードツーリズム研究』第6号の発送状況 ・会員現況	11名	オンライン
第4回	11月21日（土）	<b>【審議事項】</b> ・第4回研究大会の概要 ・フードツーリズムセミナーの企画 ・研究分科会の公募 <b>【報告事項】</b> ・年報『フードツーリズム研究』第6号の発送状況 ・会員現況	8名	オンライン
第5回	2月 5日（土）	<b>【審議事項】</b> ・新入会員の入会審査 ・理事会および総会のスケジュール <b>【報告事項】</b> ・第4回研究大会の最終確認 ・会員現況	11名	オンライン

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学会 facebook の閉鎖</li> <li>・研究分科会の公募</li> <li>・時期役員の選出</li> </ul>		
--	--	---	--	--

(3) フードツーリズム研究セミナー

- ・日 時：2021年5月22日（土） 11:00～12:10
- 会 場：オンライン
- 講 師：田中浩子氏（立命館大学食マネジメント学部副学部長・教授）
- テーマ：食を起点としたまちづくりとフードツーリズム

(4) 視察研修

- ・国内または海外でのフードツーリズムに関連する視察研修を1～2回行う。  
⇒新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、国内外ともに実施できなかった。

(5) 第4回研究大会

- ・日 時：2022年2月5日（土） 13:00～17:00
- ・会 場：ハイブリッド開催（中央電気倶楽部&Zoom）
- ・参加者：44名（うち、非会員は14名）
- ・プログラム
  - ①研究報告（3件）
    - ・フードトレイルにおける「集積」と「周遊」に関する考察  
中子富貴子
    - ・ツーリズム視点に立脚した「おにぎり」に関する基礎的研究  
藪下保弘・野村京子・森菜々花
    - ・オープンファクトリーとフードツーリズムに関する一考察  
：大阪府東大阪市「こーばへ行こう！」と「東大阪カレーパン」の事例より  
岡恵
  - ②研究分科会報告（3件）
    - ・震災復興と三陸フードツーリズムに関する研究  
白石恵子
    - ・池袋中華街と最近の「中国料理」  
稲本恵子・李娜
    - ・泉州地域におけるフードツーリズムの展開に関する考察  
小川雅司・平島佳世子
  - ③基調講演
    - ・美食観光都市サン・セバスティアン、その成り立ちに迫る  
山口純子氏（美食プロデューサー）

(6) 年報『フードツーリズム研究』

- ・第6号を2021年5月発行した。  
\*研究成果を社会に広げる目的で、第5号と同様、第6号も国立国会図書館および公益財団法人味の素の文化センターに納本した。

(7) 研究分科会（研究支援費）の公募

- 2020年度は3件（うち2件（①と②）は継続）の研究分科会が採択された。

①日本における「中華料理」と「中国料理」：横浜と池袋を中心に

稲本恵子・李娜・張茜

②泉州地域における農産物のブランド化とフードツーリズムへの活用

小川雅司・傍嶋則之・初澤敏生・山口隆子・五嶋俊彦・平島佳世子・萩野哲也

③震災復興と三陸フードツーリズムに関する研究

白石恵子・浅野幸治・王静・高田剛司・村上喜郁

(8) 会員数の状況

- 2022年3月31日現在

43名（うち、正会員41名、学生会員2名、賛助会員0名）

\*昨年度から4名増加

なお、顧問、名誉会員については、年会費を徴収していない

## 第2号議案 2021年度収支決算

### 2021年度収支決算書 (会計期間：2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位：円)

【収入の部】			【支出の部】		
科目	決算額	予算額	科目	決算額	予算額
前年度繰越金	453,985	453,985			
会費収入	199,000	235,000	事業費	161,113	288,488
（正会員）	195,000	225,000	（謝金）	40,000	88,888
（学生会員）	4,000	10,000	（旅費交通費）	1,100	30,000
（賛助会員）	0	0	（研究支援費）	69,788	130,000
事業収入	0	15,000	（会場費）	37,500	33,000
（セミナー参加費）	0	15,000	（印刷費）	0	1,100
寄付金	0	0	（消耗品費）	12,725	5,500
協賛金	0	0	管理費	10,583	20,300
雑収入	5	0	（HP運営費）	5,638	6,000
			（通信費）	4,945	3,300
			（雑費）	0	11,000
合計	652,990	703,985	合計	171,696	308,788
			次年度繰越金	481,294	395,197
				(三井住友銀行)	

監査の結果、上記決算書に間違いのないことを報告いたします。

2022年5月16日 会計監査

山口 隆子  
山口 隆子 (H) 代筆



## 第3号議案 2022年度事業計画

### (1) 通常総会

- ・日 時：2022年5月21日(土) 10:00~12:00
- ・会 場：ハイブリッド(大阪産業大学梅田サテライト&Zoom)
- ・議 題：第1号議案 2021年度事業報告  
第2号議案 2021年度収支決算  
第3号議案 2022年度事業計画  
第4号議案 2022年度収支予算  
第5号議案 役員の選出(変更)

### (2) 理事会

- ・年間5回程度を開催する。

### (3) フードツーリズム研究セミナー

- ・外部講師などを招き、フードツーリズムに関連する研究セミナーを1~2回開催する。状況によってはオンライン開催とする。参加対象は正会員とし、メールでの告知とするが、有料で非会員の参加も検討する。
- ・正会員の獲得も兼ねた研究セミナーとして、会員および非会員(非会員は有料——入会した場合は無料する)を対象に、2022年上半期に酒ミュージアム(白鹿記念酒造博物館)を訪問、館長の弾正原佐和氏からの講座を受ける。
- ・主として会員対象に、通常総会の開催と合わせて、研究セミナーを実施する。
  - \*「コロナ禍で変貌した神戸の食と文化」  
江弘毅氏(神戸松蔭女子学院大学教授、株式会社140B取締役編集責任者)

### (4) 視察研修

- ・本年度は国内でフードツーリズムに関連する視察研修を会員および非会員を対象に1回開催する。場所、内容などは現時点では未定であるが、学会の研究分科会と連携した視察とすることも検討する。
  - \*視察研修は原則、現地集合・解散とし、必要な交通手配、宿泊等は各自個別に行う。視察研修に関わる謝礼などの経費は参加者で案分負担する。
  - 傷害保険等も参加者の責任での加入とし、学会としては事故等については免責とする。

### (5) 第5回研究大会

- ・日時：2023年3月4日(土) 13:00~18:00  
場所：東京経済大学国分寺キャンパス
  - \*大会テーマやプログラムについては、今後の理事会で企画するが、概ね、第4回研究大会の内容(基調講演、研究分科会報告、研究報告)を踏襲する。

### (6) 年報『フードツーリズム研究』

- ・第7号の発行に向けて、2022年4月15日に原稿を締め切り、同年5月付けて発行するべく、現在、最終確認中である。

- なお、年報をISSN (International Standard Serial Number : 国際標準逐次刊行物番号) を取得し、公に認められた逐次刊行物と位置付けるため、2022年5月発行の本号より『日本フードツーリズム学会誌』と改称し、「第1号」とする。

#### (7) 研究分科会

- 2022年2月6日に公募を開始し、3月31日に締切、4月23日の第1回理事会において、以下の2件が採択された。なお、分科会への参加を希望する会員は、事務局から研究代表者にアポイントメントを取りますので、学会事務局にご連絡下さい。

【新規】大阪産（おおさかもん）を活用したフードツーリズム研究

平島佳世子（代表者）・小川雅司

【継続】震災復興と三陸フードツーリズムに関する研究

白石恵子（代表者）・浅野幸治・王静・高田剛司・村上喜郁

#### (8) 広報の強化

- 本学会の存在を広く社会に広めるために、学会事務局に「広報検討WG」を設置し、ホームページの改善とSNSによる情報発信を強化する。また、学会のブランディングについて、理事会を中心に検討し、1年後を目処に新ロゴの設定を行う。
  - ： 広報検討WGの構成 — 平島佳世子、浅野幸治、白石恵子、小川雅司
  - ： 広報の強化に関心のある会員のみなさんには、是非とも参画をお願いいたします。参画頂けるかたは事務局までメールでご連絡下さい。

## 第4号議案 2022年度収支予算

<b>2022年度収支予算書</b> (会計期間：2022年4月1日～2023年3月31日)					
---	--	--	--	--	--

(単位：円)

【収入の部】			【支出の部】		
科目	予算額	前年度実績	科目	予算額	前年度実績
前年度繰越金	480,794	453,985			
会費収入	235,000	199,000	事業費	255,000	161,613
(正会員)	225,000	195,000	(謝金)	70,000	40,000
(学生会員)	10,000	4,000	(旅費交通費)	20,000	1,100
(賛助会員)	0	0	(研究支援費)	100,000	70,288
事業収入	15,000	0	(ブランド検討費)	20,000	—
(ゼミナー参加費)	15,000	0	(会場費)	40,000	37,500
寄付金	0	0	(印刷費)	2,000	0
協賛金	0	0	(消耗品費)	3,000	12,725
雑収入	0	5	管理費	55,000	10,583
			(HP運営費)	40,000	5,638
			(通信費)	5,000	4,945
			(雑費)	10,000	0
合計	730,794	652,990	合計	310,000	172,196
	(250,000)		次年度繰越金	420,794	480,794

### <科目別予算計上の考え方>

前年度実績を参考にしながら、次のような考えかたにもとづき予算を計上した。

- ・会費収入：正会員45名（昨年度末で41名）、学生会員5名（昨年度末で2名）を想定。
- ・事業収入：2回の開催（1人当たりのセミナー参加費：500円）を想定。
- ・研究分科会：1研究分科会あたり上限5万円とする（継続の1件は昨年度の残金のみ使用可能）。
- ・会場費：理事会はオンラインや理事の本務校を積極的に利用するが、研究セミナーなどでその他有料の会議室を利用する場合もあることを想定。

## 第5号議案 役員の選出（変更）

会則により、役員の任期は3年であるが、諸般の事情により、2021年度をもって、理事の浅野幸治（C&Kデザイン）と王静（大阪観光大学）が退任した。また、監査を2名体制にするべく、新たに岡患（大江山特許商標事務所）が監査に就任する。

### 【2022年度役員（敬称略）】

会 長：中村忠司（東京経済大学）

副会長：村上喜郁（追手門学院大学）

事務局長：小川雅司（大阪産業大学）

理 事：青木洋高（株式会社JTBPブリッシング）

稲本恵子（共栄大学）

小畑博正（嵯峨美術大学）

五嶋俊彦（大阪観光大学）

傍島則之（名古屋産業大学）

萩野哲也（一般財団法人関西観光本部）

平島佳世子（いづみ合同会社）

監 事：山口隆子

岡患（大江山特許商標事務所）